

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 4 月 27 日

【評価実施概要】

事業所番号	0770102507		
法人名	有限会社 ヴォルファート		
事業所名	グループホーム 四季彩		
所在地	福島市永井川字光白50番地 (電話)024-539-7810		
評価機関名	社会福祉法人 福島県社会福祉協議会		
所在地	福島市渡利字七社宮111番地		
訪問調査日	平成19年3月26日	評価確定日	平成19年4月27日

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅地の中にあり、家庭的な雰囲気と入居者、職員がともにゆったりと過ごしている。開設1年であるが、ホ-ムにとって必要な書類も整備、保管され、きめ細かなケアを実践しようとしており、さらなる向上が期待される。

【情報提供票より】(2007年2月19日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	18年	3月	1日
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人	
職員数	13人	常勤	11人	非常勤 2人, 常勤換算

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋建て	造り
	1階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,500円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,200円		

(4) 利用者の概要(2月1日現在)

利用者人数	12名	男性	1名	女性	11名
要介護1		要介護2		6	
要介護3	4	要介護4		2	
要介護5		要支援2			
年齢	平均 81.2歳	最低	67歳	最高	89歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人創仁会荒井診療所 つじ歯科医院
---------	---------------------

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	サービス評価を実施するに当たり、評価の意義等について説明を行い、自己評価項目を分担して行った。自己評価の結果については全員での話し合いは行っていない。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5)
重点項目	2か月に1回開催し、ホ-ムの活動内容等を報告し、意見、助言をいただいている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	家族の訪問時などに声をかけ、意見、要望等をきくようにしている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	町内会には加入しているが、地区の行事には事業所とみなされ参加できない。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時にスタッフで理念について話し合い原案を作り、社長を含めた話し合い結果、地域とのつながりを大切にする理念を作り上げた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングで理念を唱和し意識付けを行っている。日々のサービス提供場面での振り返りのときにも、理念にそったものかどうか職員と話し合うようにしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しているが、地区の行事には事業所とみなされ参加できない。		グループホームが特別なものと見られている面もあるので、運営推進会議を活用し理解を深めてもらう努力をするとともに、町内会や公民館の年間行事を把握し、参加可能なものに参加していくよう努めてほしい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価を実施するにあたり、評価の意義等について説明を行い、自己評価項目を分担して行った。		自己評価について全員での話し合いは行っていないので、外部評価の結果も踏まえ、具体的な改善にむけた話し合いをしてほしい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2か月に1回開催し、活動内容等を報告し、意見、助言をいただいている。</p>		
6	9				
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月担当スタッフが手紙で利用者の暮らしぶりを伝え、行事の写真なども同封している。金銭管理は個別の出納帳に記入し、コピーにより毎月報告、確認していただいている。</p>		<p>ホーム便りの作成を検討しているとのことなので、編集委員会を作り継続発行する体制を作ってほしい。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の訪問時などに声をかけ、意見、要望等を聞くようにしている。</p>		<p>家族会の設置を考えているとのことなので、家族も含めてホ-ムでの暮らしを支えていくことの理解を深め、家族同士の集まりの場で意見が出されるようにしてほしい。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>基本的には、各ユニットの職員は固定化し、馴染みの職員によるケアをするようにしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部の研修には、なるべく受講できるように配慮している。受講後は研修報告書を作成し、みんながいつでも見られるようにしている。OJTチェック表による自己評価、他者評価を行っている。</p>		<p>報告会の実施は、より研修効果を上げると思われるので、検討してほしい。自己評価、他者評価の結果を活かす取り組みを期待します。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に加入し、活動に参加している。</p>		<p>さらに、必要に応じて他事業所との職員同士の交流の場を持ってほしい。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)</p>	/	/	/
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者から料理や裁縫を教えてもらったり、体調を気遣ってもらったり、夜勤のときは休めるときは休みなさいといたわってもらっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で気づいたことはスタッフで話し合い、ファイルや申し送りノートに記入し、共有化をはかっている。また、家族とも話し合い本人の思いを把握するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	実地調査で本人・家族の要望、意見を聞き、本人の情報を事前調査表にまとめ、職員のカンファレンスを行い、介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて評価し見直しを行っている。状態変化の際は、本人、家族の意見、職員の気づき、意見を出し合いカンファレンスを行い介護計画の見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)	/	/	/

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時に、本人や家族の希望を第一に考え、基本的には家族同行の受診とし、不可能の場合は職員が代行することを説明し、同意を得ている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に、「看取りケアの指針」について説明し、同意を得ている。状態に応じ、担当医、看護師、家族、職員で話し合いを行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	居室への出入りを勝手にしない、人前であからさまにトイレ誘導をしない、個人の記録を人前に放置せず、鍵の掛かるところに保管することなどに配慮している、		引き続き、個人情報保護法の理解に努め、秘密保持の徹底に努めてほしい。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務中心でなく、その人らしく個別性のある支援を心がけているが、不十分な面がある。		さらに一人ひとりの生活のリズムに配慮し、起床や入浴時間、食事にかかる時間等について本人のペースで行えるよう努めてほしい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	調理、盛り付け、片付け等も利用者とともに 行い、利用者と職員と一緒に食事をしてい る。		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	入居前の入浴習慣を把握している。遅番の時 間帯(午後7時30分)までは希望に応じた 入浴が可能となっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)</p>	一人ひとりの生活歴や力を活かし、新聞取 り、玄関掃除、料理、茶碗ふきなどの役割、 編物、折り紙、刺繍などの楽しみ、ヘルシ ランドにみんなで行くなどの気晴らしを行っ ている。		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)</p>	利用者の希望、気分に応じて、買い物、散 歩、ドライブなど外に出かける機会を作っ ている。		入居者が重度化した場合でも、本人に合わ せた移動の配慮をしながら外出を支援する ようにしてほしい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	職員の見守りを徹底し、日中は鍵をかけず自 由に出入りできるようにしている。隣近所、 交番への協力要請も行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>運営推進会議での協力呼びかけ、消防署等の協力を得て定期的に訓練を行っている。業者による消防設備の点検を行っている。</p>		<p>入居者一人ひとりを想定した訓練、夜間想定訓練の取り組みを行ってほしい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事、水分の摂取状況をチェック表に記録し把握している。</p>		<p>栄養士による献立表の点検指導を検討してほしい。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に応じ、花を飾ったり、クリスマスツリ、門松、団子さし等季節感、生活感をとりいれている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前の説明で利用者の馴染みのものを持参してもらうようにしているが、まだ不十分である。</p>		<p>実態調査で入居者の住まいを訪問した際、使い慣れたものや本人が大切にしているものを本人と家族に選んでもらい、持ち込むなど検討してほしい。</p>

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(別紙1)を添付すること。

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 グループホーム 四季彩

記入担当者名 小林 のぞみ

評価結果に対する事業所の意見

特になし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目 を記入してから内容を記入してください。